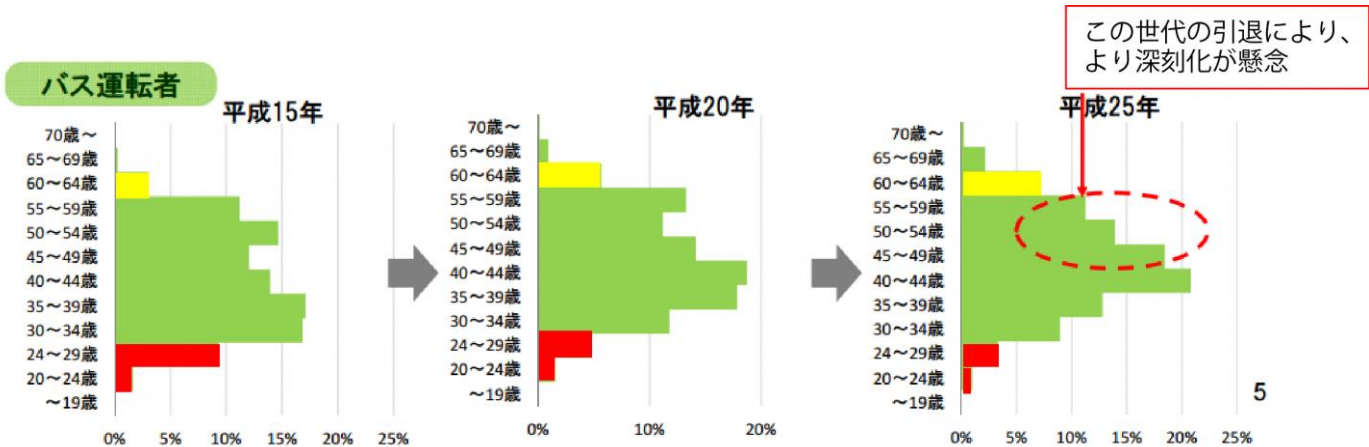
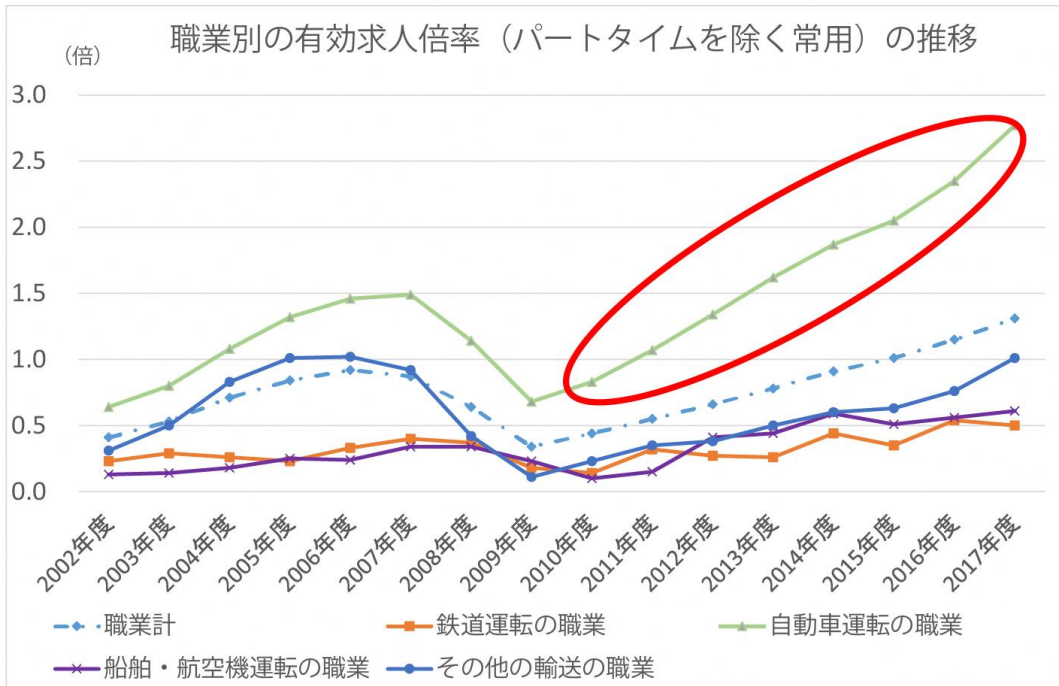


バス・タクシー等運転手の現状

- 自動車運転の事業は、他の運転業と比較しても有効求人倍率(※)が高い。有効求人倍率は数値が高いほど企業からの求人数が多い、あるいは求職者が少ない状況を示す。つまり、バス・タクシーなどの自動車運転事業では求人数に対して求職者が減少しており、ドライバーのなり手が不足している現状を示している。なお 2009 年度以降は、年を追うごとにその傾向が強くなっている。

※有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

- バス運転手の年代別比率を見ると、40 歳以下のドライバー率は年々減少しており、数年後に予測される 50 歳以上の高齢ドライバーが引退することによって、ドライバー不足が現在以上に深刻になることが想定される。



出典：第1回都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会
(国土交通省都市局 H30.10.22) 資料 3・P9